

# 11月16日 副市長

6年近く男鹿市教育長を務め、4月に副市長に起用された。「教育に熱心な市長を支え、子育てしやすい

地域づくりを目指したい」と力を込める。

旧職員時代  
に旧能代  
産廃問題や

男鹿市

古比俊氏  
としひこ  
もと俊  
すぎもと  
本杉



校統合は難しい問題で苦労した」という。

新たな市総合計画（16年度）を策定するタイミングとも重なり、将来ビジョンに思いを巡らす日々だ。特に人口減少は市が直

職員には「それぞれの業務の目的をしっかりと理解し、横の連携を図りながらスピード感ある対応をしてほしい」と話す。

休日には主に読書。歴史・時代小説が好きで、最近のお気に入りの武将は徳川家康という。「いろいろな人の話を聞き、慎重に決断する姿に共感する」と笑顔を見せた。

◆ ◆ ◆  
64歳。同市五里合出身。

面する最重要課題。未婚率の高い30、40代の結婚支援などを継続していく一方、「交流人口の拡大やにぎわい創出につながる男鹿駅周辺の整備が大きなテーマになる」。

芝浦工大工卒。75年県庁入り。県民文化政策課長、健康環境センター所長で09年に退職。同年7月から男鹿市教育長。船川港船川字新浜町10の2。

さまざまな施策を展開した。「学

（佐藤勝）